高田川新聞

2013年 9月 2日

発行者
高田川部屋後援会事務局
〒135-0024
東京都江東区清澄2-15-7
ホームページ
www.takadagawa.com

大相撲九月場所
平成25年9月15日より
15日間
於　両国国技館
四人マス席ご案内
式守勘太夫がお届け致します

高田川部屋ホームページでは場所期間中、全力士の星取表とブログを毎日更新いたします。
www.takadagawa.com

真価の問われる九月場所

夏場の稽古の積み重ねが、躍進へとつながる

愛知県体育館で開催された七月場所で、高田川部屋の力士たちは二十二名中九名が勝ち越し（負け越し十一名、休場二名）であった。満を持して復帰をした竜電であったが、治癒した箇所に再度違和感を感じて休場することになった。そして現在は稽古場で廻しを締め、復帰に備えて体を鍛えている。同じく休場をしていた大鷹山は格下の相手ではあるが五勝二敗で、復帰への足掛かりをつけた。また、安芸乃山が虫垂炎のため途中休場となった。術後の経過は良好で今場所には復帰する。

そんな中、ベテランの大雷童、剛力山が六勝と大勝ちをし、また安芸乃川、大野城が五勝を挙げて面目が保たれた形になった。

六勝の大雷童 十両が見えた

高田川部屋の中でも、数少ない十両経験者である大雷童。再十両を目指して日々稽古を行っており、先場所は六勝と久々に大きく勝ち越して、自身の好調をアピールした。

さまざまなトレーニング法の中から、自分に合ったものを見つけていくことが力士には重要である。大雷童にとってはそれが独特の呼吸法であり、続けてきた成果が形になって現れた。

「今場所も続けて勝ち越さなければ、六番勝った意味がない」と大雷童は語り、気持ちを引き締めて今場所に臨む。

先場所は元十両の意地を見せた大雷童。今場所も続けて勝ち越して、再十両を果たして欲しい。

地元で快勝 剛力山六勝

このところ勝ち越すことのできない場所の続いていた剛力山だったが、先場所は初日から六連勝、三段目優勝をかけた大一番で敗れたものの、地元名古屋で見ごたえある相撲を見せることができた。

剛力山は「今場所は番付も大きく上がるので、大勝ちをして幕下に戻れるようにしたい」と、今場所の抱負を語った。

安芸乃川五勝 幕下返り咲き

三月場所で負け越して以来、三段目の上位に甘んじていた安芸乃川が、先場所は五勝して今場所での幕下復帰を果たした。兄安芸乃山が虫垂炎に倒れたときには、翌日に大事な相撲が控えながらも付き添い、初日からの四連勝を遂げた。

「調子は悪くなく、もう一番は勝って終わりにしたかった」と安芸乃川は語った。

最高位で五勝 大野城が躍進

先々場所で五勝を挙げて自身最高位としていた大野城。先場所も五勝を挙げてその好調な姿を見せた。まだ相撲の流れを把握していない「青い力士」ながら一番相撲の集中力は親方も感心するところ。荒削りが魅力であるが正統派での出世を遂げてもらいたい。

名古屋場所では御後援頂いた後援会の皆様方、関係者各位の皆様に心からお礼申し上げます。

茨城道場で合宿稽古

八月十七日から一週間の日程で、茨城高田川部屋道場での稽古合宿が行われた。

合宿は、一日中相撲漬けの厳しい毎日で、いつも通りの朝稽古のほか、午後には筋トレを中心にした夕稽古もこなした。今場所は、体力的にも精神的にも厳しい稽古が実を結ぶことになるはずだ。

※表記の番付は正式発表前の予想

幕下	大雷童	先場所6勝1敗	○○○●○○○	去年の名古屋場所同様に、先場所はすごく自分の身になる相撲が取れた。今場所も勝ち越していきたい。
〃	達	先場所4勝3敗	○○●○○○●	先場所はもうちょっと勝ちたかったが、勝ちきれなかった。もう下には下がりたくない。早く上がりたい。
〃	安芸乃川	先場所5勝2敗	○○○○●○●	今場所は幕下に戻るが、勝ち越せないと下に落ちてしまうので、絶対に勝ち越さなくてはいけない。
〃	北皇	先場所4勝3敗	○○●●○○●	先場所勝ち越すことで、なんとか今場所は幕下に戻ることができた。続けて勝ち越せるように頑張りたい。
三段目	鶴乃湖	先場所4勝3敗	○○○●●○●	今場所は自身最高位であり、五番勝てば幕下に上がれる位置なので、それを目指して頑張っていきたい。
〃	大神風	先場所2勝5敗	○○●●●●●	今場所は三段目に落ちるので、勝ち越しをして幕下に戻れるようにしたい。五番は勝ちたい。
〃	白鷹山	先場所3勝4敗	○●○○●●●	力士になって初めて負け越して目が覚めた。勝つことよりも、自分の相撲が取ることを意識していきたい。
〃	剛力山	先場所6勝1敗	○○○○○○●	地元で勝ち越すことができて良かった。今場所は先場所同様に落ち着いて自分の相撲を取っていきたい。
〃	安芸乃山	先場所0勝2敗5休	●休休休休休	先場所は虫垂炎のため休場となった。すでに稽古もしており、すぐにでも幕下に戻れるようにしたい。
〃	大乗	先場所2勝5敗	●●●●○●○	体調はかなりよい。六番勝てば幕下に戻れるので、頑張って一つでも多く勝ちたい。
〃	大野城	先場所5勝2敗	○○○○●○●	まだ少し迷いがあるが、自分の相撲が取れるようになってきた。自身最高位を更新していきたい。
〃	太熊	先場所2勝5敗	●●●●○●○	先場所は勝ちきることができなかった。体調はいいので、まずは四番勝っていけるようにしたい。
〃	前乃富士	先場所3勝4敗	○●○●●●○	このところ怪我が多い。今場所は怪我をしないように、一番一番を大切に相撲を取って、勝ち越したい。
〃	竜電	先場所1勝2敗4休	●○●休休休休	いまは治療に専念し、鍛えられるところは鍛えて万全になったところで復帰するようにしたい。
〃	暁	先場所1勝6敗	○●●●●●●	先場所は調子が出ず、だいぶ番付が下がってしまった。上に戻れるように稽古をしていきたい。
〃	恵比寿丸	先場所4勝3敗	○●○○○●●	先場所は四勝一敗から二連敗してしまった。五勝はしたかった。今場所も勝ち越しを目指して頑張りたい。
序二段	彈丸	先場所3勝4敗	●○●○●○●	先場所は課題が見つかったので、初心に返って少しずつやり直していきたい。勝ち越していきたい。
〃	大鷹山	先場所5勝2敗	○●○○●○○	手術した箇所はまだ完治していないが、少しずつ筋力も戻ってきている。勝ち越して三段目に上がりたい。
〃	須磨ノ海	先場所2勝5敗	●●●●○○●	先場所、調子は悪くなかったが勝ちきれなかった。今場所は勝ち越して三段目に戻りたい。
〃	前大将	先場所3勝4敗	●●○●●○○	先場所は自身最高位だったが勝ち越せなかった。体調を整えつつ、今場所は勝ち越しを目指していきたい。
〃	大由志	先場所3勝4敗	○●●○○●●	チャンスが掴みきれなかった。勝てるように稽古をしていき、まずは勝ち越しをしたい。
〃	櫻	先場所2勝5敗	●●●○●○●	二場所連続で大きく負けてしまっている。何とか勝ち越せるように、稽古をして力をつけたい。

式守勘太夫の目

行司　木村和一郎 改め

先々場所である三月場所の成績は勝ち越しが四割程度で、先場所は五割弱となった。最低でも六割の成績を期待していただけに、竜電と安芸乃山の休場は理屈抜きに高田川部屋の力士全体の勢いに影響を与えることとなった。

しかし、安芸乃山は虫垂炎になるも無事に手術を終えて退院し、竜電の骨折の症状も最小限でとどめることができたのは幸いであった。

「ついていない時はしょうがない。明日を見据えて明るく行きましょう」と大声で叫びたい。

夏の東北巡業、茨城高田川道場での合宿、ジャカルタ巡業を経てもやもやを吹き飛ばし、爽やかに本場所を迎えたい。

高田川 親方の喝！

最近、部屋全体の成績が伸び悩んでいます。今の力士たちに合わせた稽古量を図りながら、どう稽古に打ち込んでいけるかを考えております。

今回、大神風の母校である報徳学園の福田先生、達の恩師である山本先生のお話を聞く機会があり、私にとってもとても勉強になりました。プロ、アマチュア問わずにそれぞれの視点から相撲の話を聞くことは、とてもいいアドバイスになります。そして、相撲に限らず世間のこと話していただいても、それが相撲道へのヒントになることもあります。

私や力士たちにいろいろとアドバイスをしたい方がいれば、ぜひ部屋に来てご指導をいただければと思っています。

行事のご案内　お問い合わせ・お申し込み／行司 式守勘太夫

高田川部屋千秋楽祝賀会	平成25年 9月 29日（日）午後6時開宴 会場は高田川部屋にて（会費制）	

四人マス席ご案内　お問い合わせ・お申し込み／行司 式守勘太夫

大相撲九月場所	平成25年 9月 15日より 15日間 チケット好評発売中	於 両国国技館
大相撲十一月場所	平成25年 11月 10日より15日間 チケット発売は平成25年10月5日（土）より	於 福岡国際センター
大相撲一月場所	平成26年 1月 12日より 15日間 チケット発売は平成25年12月24日（火）より	於 両国国技館

高田川部屋 後援会発足のお知らせ　お問い合わせ／行司 式守勘太夫

特別会員	会員の特典●年六場所番付表及び、高田川部屋新聞の送付●大相撲カレンダーの送付●記念品の進呈●場所前の激励会にご案内●千秋楽祝賀会にご案内●稽古見学（事前にご連絡ください）●その他特典あり
一般会員	会員の特典●年六場所番付表及び、高田川部屋新聞の送付●大相撲カレンダーの送付●記念品の進呈●場所前の激励会にご案内●千秋楽祝賀会にご案内●稽古見学（事前にご連絡ください）

平成21年秋より力士たちは新しい高田川部屋で稽古を積み重ねております。これもひとえに皆々様方のご支援・ご厚情の賜物と感謝しております。改めて御礼申し上げます。この度、新生・高田川部屋の後援会を発足させていただくことになりましたので、ご案内させていただきます。皆々様、広く会員のご紹介を賜りますよう、お願い申し上げます。

高田川部屋
公式ホームページ
www.takadagawa.com
高田川ブログで部屋の近況をご報告しています